

2020年10月度 中部品質工学研究会 議事録

1. 開催日時
2020年10月3日(土) 10:00~17:00

2. 開催場所
アイテックインターナショナル(オンサイト)
Teamsを用いてのリモート(オンライン)

3. 会員参加者<敬称略>S: オンサイト出席・L: オンライン出席、欠: 欠席、書: 書記、休: 休会

大見	L	牧野	L	横尾	L	山口(直)	L	杉浦	L	三浦	休	城越	L	中山	L
合田	L	佐藤	L	伊藤	S	舟山	S	出島	L	福田	L	李	休	河合	休
奥村	L	水田	L	小峰	L	小西	L	山中	L	庄内	欠	池田	書	山口(展)	L
黒田	L														

4. 研究会内容

1) 輪講：ロバスト設計のための機能性評価 第10章 (担当：小峰、サポート：山中)

作用と副作用に関する、品質工学の事例を検討した。

2) 品質工学との関わりについて：城越

中部品質工学研究会に入会した2015年から今までの自身を振り返り、出来事、对外発表、手がけたテーマを紹介した。減速機の機能性評価、減速機の耐久性について、表面の摩耗抑制について簡単に報告した。

3) 事例相談：杉浦

割愛

4) グループディスカッション：全員参加、4グループ

・4グループでのWEB上での議論を試行。チーム別に接続後はスムーズに議論できた。管理者は少し忙しいので、できれば3チームとしたい。

5) 事務局連絡

1. 参加方法について

1 1月にリアル参加を検討中。後日、事務局より参加方法のアンケートを発信予定。

2. リモートディスカッション

1 1月のQFD演習は、リアル参会者のPCを活用し、グループ数は試行結果から3グループ程度で実施予定。

3. 講演会招聘

1 1月：QFD演習、1 2月：QFD⇒TRIZ⇒QE、1月：TRIZ の予定。

他の案：永田先生：統計と品質工学の使い分け、竹重さん：1Dモデルベースデザイン、福井さん（もしも研）：AIと品質工学の使い分け、データロボ：AIなど要望あり。

4. 対外関係

品質管理学会分科会 新商品開発プロセス研究会：品質工学会の会員であれば参加可能。中部の研究会としては、今後講演等を通じて広く開発プロセスの知識を得てから、参加を検討したい。